

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【公開番号】特開2010-3236(P2010-3236A)

【公開日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-001

【出願番号】特願2008-163474(P2008-163474)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 6 K 7/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 3/01 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 5 4 0 C

G 0 6 F 13/00 5 4 7 V

G 0 6 F 13/00 5 1 0 C

G 0 6 F 3/12 C

G 0 6 K 7/00 U

B 4 1 J 29/38 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

B 4 1 J 3/534

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月31日(2011.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷手段と、ネットワークに接続する通信手段とを備える画像出力装置であって、
前記ネットワーク上のウェブサイトの URL 情報を登録する登録手段と、
前記登録手段により登録された URL 情報を用いて、前記通信手段によりネットワーク
上のウェブサイトからウェブリソースを取得する取得手段と、
所定のタイミングで、前記取得手段により取得されたウェブリソースが更新されたか否
かを判定する第一の判定手段と、

前記第一の判定手段による判定の結果に応じて、更新されたウェブリソースにかかる情
報を用紙に出力するための出力データを生成する生成手段と、

前記生成手段により生成された出力データが記憶領域に蓄積されることにより所定の量
を超えたか否かを判定する第二の判定手段と、

前記第二の判定手段による判定の結果、前記出力データが所定の量を超えたと判定され
た場合、前記出力データを用いて生成される印刷データを、前記印刷手段により印刷させ
る印刷制御手段と

を備えることを特徴とする画像出力装置。

【請求項 2】

前記第二の判定手段は、前記出力データが記憶領域に蓄積されることにより所定の量を

超えたか否かを判定する条件として、出力データが用紙 n 項分蓄積されたかにより判定する条件、蓄積された出力データの記事数が n 個を超えたかにより判定する条件、蓄積された出力データが記憶領域における定められたデータ量の上限値を超えたか否かにより判定する条件のいずれかの条件を用いて判定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像出力装置。

【請求項 3】

前記第一の判定手段は、前記取得手段により取得されたウェブリソースが更新されたか否かの判定を、所定の記述形式で記載された更新情報を解析した結果に基づいて判定するか、または新たに取得したウェブリソースを解析した結果に基づいて判定するかのいずれかによって行うものであり、

前記生成手段は、前記第一の判定手段において所定の記述形式で記載された更新情報を解析した結果に基づいて更新されたと判定された場合は、当該更新情報を用いて前記出力データを生成し、一方、前記第一の判定手段において新たに取得したウェブリソースを解析した結果に基づいて更新されたと判定された場合は、当該解析したウェブリソースを用いて前記出力データを生成することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像出力装置。

【請求項 4】

前記生成手段は、前記更新されたウェブリソースにかかる情報を取得可能な URL 情報に基づく二次元バーコードを生成して前記出力データに含め、

前記印刷制御手段は、前記生成された二次元バーコードを印刷させることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像出力装置。

【請求項 5】

用紙に印刷される二次元バーコードから情報を読み取る情報読取手段を更に備え、

前記登録手段は、前記情報読取手段により読み取った情報を用いて URL 情報を取得し、

前記印刷制御手段は、前記取得した URL 情報を用いて前記取得手段によりウェブリソースを取得し、前記印刷手段に印刷データを印刷させることを特徴とする請求項 4 に記載の画像出力装置。

【請求項 6】

印刷手段と、ネットワークに接続する通信手段とを備える画像出力装置の印刷方法であって、

前記ネットワーク上のウェブサイトの URL 情報を登録する登録ステップと、

前記登録ステップにより登録された URL 情報を用いて、前記通信手段によりネットワーク上のウェブサイトからウェブリソースを取得する取得ステップと、

所定のタイミングで、前記取得ステップにより取得されたウェブリソースが更新されたか否かを判定する第一の判定ステップと、

前記第一の判定ステップによる判定の結果に応じて、更新されたウェブリソースにかかる情報を用紙に出力するための出力データを生成する生成ステップと、

前記生成ステップにより生成された出力データが記憶領域に蓄積されることにより所定の量を超えたか否かを判定する第二の判定ステップと、

前記第二の判定ステップによる判定の結果、前記出力データが所定の量を超えたと判定された場合、前記出力データを用いて生成される印刷データを、前記印刷手段により印刷させる印刷制御ステップと

を備えることを特徴とする印刷方法。

【請求項 7】

印刷手段と、ネットワークに接続する通信手段とを備える画像出力装置において実行可能なプログラムであって、

前記ネットワーク上のウェブサイトの URL 情報を登録する登録手段、

前記登録手段により登録された URL 情報を用いて、前記通信手段によりネットワーク上のウェブサイトからウェブリソースを取得する取得手段、

所定のタイミングで、前記取得手段により取得されたウェブリソースが更新されたか否

かを判定する第一の判定手段、

前記第一の判定手段による判定の結果に応じて、更新されたウェブリソースにかかる情報を用紙に出力するための出力データを生成する生成手段、

前記生成手段により生成された出力データが記憶領域に蓄積されることにより所定の量を超えたか否かを判定する第二の判定手段、

前記第二の判定手段による判定の結果、前記出力データが所定の量を超えたと判定された場合、前記出力データを用いて生成される印刷データを、前記印刷手段により印刷させる印刷制御手段

として前記画像出力装置を機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像出力装置及び印刷方法、プログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、請求項1記載の画像出力装置は、印刷手段と、ネットワークに接続する通信手段とを備える画像出力装置であって、前記ネットワーク上のウェブサイトのURL情報を登録する登録手段と、前記登録手段により登録されたURL情報を用いて、前記通信手段によりネットワーク上のウェブサイトからウェブリソースを取得する取得手段と、所定のタイミングで、前記取得手段により取得されたウェブリソースが更新されたか否かを判定する第一の判定手段と、前記第一の判定手段による判定の結果に応じて、更新されたウェブリソースにかかる情報を用紙に出力するための出力データを生成する生成手段と、前記生成手段により生成された出力データが記憶領域に蓄積されることにより所定の量を超えたか否かを判定する第二の判定手段と、前記第二の判定手段による判定の結果、前記出力データが所定の量を超えたと判定された場合、前記出力データを用いて生成される印刷データを、前記印刷手段により印刷させる印刷制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、請求項6記載の画像出力装置の印刷方法は、印刷手段と、ネットワークに接続する通信手段とを備える画像出力装置の印刷方法であって、前記ネットワーク上のウェブサイトのURL情報を登録する登録ステップと、前記登録ステップにより登録されたURL情報を用いて、前記通信手段によりネットワーク上のウェブサイトからウェブリソースを取得する取得ステップと、所定のタイミングで、前記取得ステップにより取得されたウェブリソースが更新されたか否かを判定する第一の判定ステップと、前記第一の判定ステップによる判定の結果に応じて、更新されたウェブリソースにかかる情報を用紙に出力するための出力データを生成する生成ステップと、前記生成ステップにより生成された出力データが記憶領域に蓄積されることにより所定の量を超えたか否かを判定する第二の判定ステップと、前記第二の判定ステップによる判定の結果、前記出力データが所定の量を超えたと判定された場合、前記出力データを用いて生成される印刷デー

タを、前記印刷手段により印刷させる印刷制御ステップとを備えることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、請求項7記載のプログラムは、印刷手段と、ネットワークに接続する通信手段とを備える画像出力装置において実行可能なプログラムであって、前記ネットワーク上のウェブサイトのURL情報を登録する登録手段、前記登録手段により登録されたURL情報を用いて、前記通信手段によりネットワーク上のウェブサイトからウェブリソースを取得する取得手段、所定のタイミングで、前記取得手段により取得されたウェブリソースが更新されたか否かを判定する第一の判定手段、前記第一の判定手段による判定の結果に応じて、更新されたウェブリソースにかかる情報を用紙に出力するための出力データを生成する生成手段、前記生成手段により生成された出力データが記憶領域に蓄積されることにより所定の量を超えたか否かを判定する第二の判定手段、前記第二の判定手段による判定の結果、前記出力データが所定の量を超えたと判定された場合、前記出力データを用いて生成される印刷データを、前記印刷手段により印刷させる印刷制御手段として前記画像出力装置を機能させることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】